

日本テスト学会第 15 回大会 抄録原稿作成要領

原稿提出期限

2017 年 6 月 30 日 (金) 必着

抄録原稿はそのまま縮小してオフセット印刷し、論文抄録集に掲載されます。以下の要領に従って原稿を作成されるようお願い致します。

原稿は、大会 HP の発表申し込みフォームを通じて、送信、または、E メールに添付してお送りください。

E メールに添付して抄録原稿を提出された方には、受付後 2 週間以内に、確認のメールをお送りします。受付後 2 週間以上経過しても確認の連絡が届かない場合は、**第 15 回大会事務局**までお問い合わせください。なお、原稿に不備がある場合は、後日お問い合わせすることがございます。

抄録原稿 (末尾のフォームを参照ください)

- (1) 発表 1 題につき 2 頁 (本文約 2,800 字) としますが、さらに 2 頁に限り超過を認めます。超過の場合は 4 頁になるように (余白頁を生じさせないように) してください。
- (2) A4 判用紙を用い、上下に各 3cm、左右に各 2.5cm の余白を設けてください。
- (3) レイアウトは以下のようにして下さい。発表題目以外は 10-12 ポイントの文字サイズとし、原則 2 段組みとします。

(ア) 1 ページ目

- 1 行目：発表題目。大きめの文字サイズ (16 ポイント程度) で中央に書く。
- 2 行目：空行 (副題がある場合は 2 行目に書き、以下 1 行ずつ下にずらす)
- 3-4 行目：発表者の氏名、所属。口頭発表者の氏名の先頭に○印をつける。連名発表者で所属が異なる場合は、¹や²などの記号で対応を明確にする。2 行で書ききれないときは、5 行目以降を適宜繰り下げる。
- 5 行目：空行
- 6 行目以降：本文

(イ) 2 ページ目以降：1 行目より本文を書く。

(ウ) 原稿末尾に連絡先 (E-mail アドレス、会員番号) を記入することができる。

大会 HP の発表申し込みフォームによる抄録原稿の送付方法・注意事項

- (1) 原則として、PDF 形式原稿を、大会 Web サイトの投稿フォームを通じて送信して下さい。
*: Microsoft Word 文書 (.doc, .docx) も受け付けますが、印刷がずれる可能性があることをご承知おき下さい。
- (2) TeX 文書は、Adobe Acrobat や dvipdfm などのソフトウェアで PDF 形式に変換して提出して下さい。
- (3) 図表はあらかじめ電子的に貼り付け、別途作業の必要がないようにして下さい。
- (4) 原稿にページ番号は記入しないでください。

- (5) 特殊文字（外字など）が使用されている場合、印字されないことがあるので、使用しないでください。
- (6) 本文および図表は白黒印刷されます。
- (7) 送付先： 下記の大会 Web サイトの投稿フォームから、お送りください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/jart2017/>

問合わせ先

日本テスト学会第 15 回大会事務局

住所：〒980-8576 仙台市青葉区川内 28
東北大学入試センター 内

E-mail : jart2017@ihe.tohoku.ac.jp

文献

- Cronbach, L. J. (1951). Coefficient alpha and the internal structure of tests. *Psychometrika*, 16, 297-334.
- 池田央 (1992). テストの科学—試験にかかわるすべての人に— 日本文化科学社.
- Linn, R. L. (Ed.). (1989). *Educational measurement* (3rd ed.). New York: American Council on Education and Macmillan.
- Lord, F. M., & Novick, M. R. (1989). *Statistical theories of mental test scores*. Reading, MA: Addison Wesley. [池田央, 藤田恵璽, 柳井晴夫, 繁杵算男 (訳編) (1992). 教育測定学第3版(上下) C.S.L.学習評価研究所.]
- 芝祐順(編) (1991). 項目反応理論—基礎と応用—東京大学出版会.
- 山田太郎, 山田花子, 佐藤一郎, 鈴木かおり (2003). ヤマダテスト受験者データベース作成の試み. 日本テスト学会第1回大会発表論文抄録集, 103-106.